

経営比較分析表（令和4年度決算）

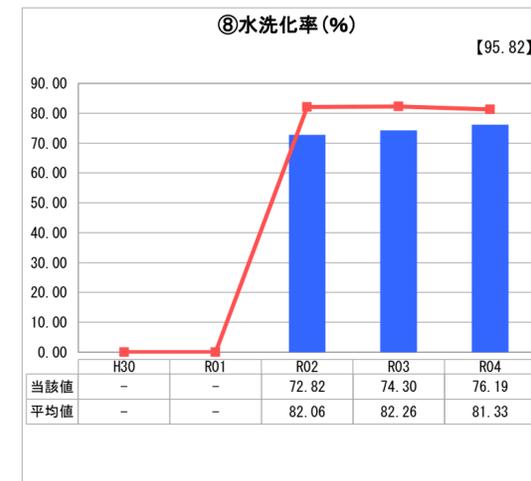
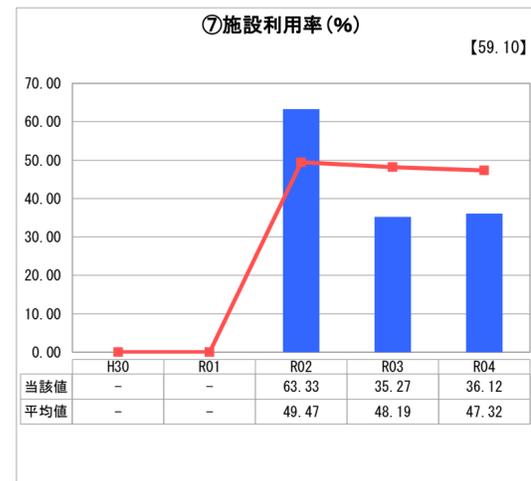
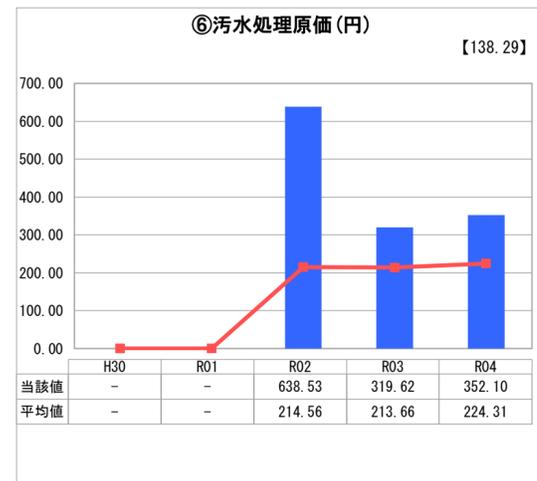
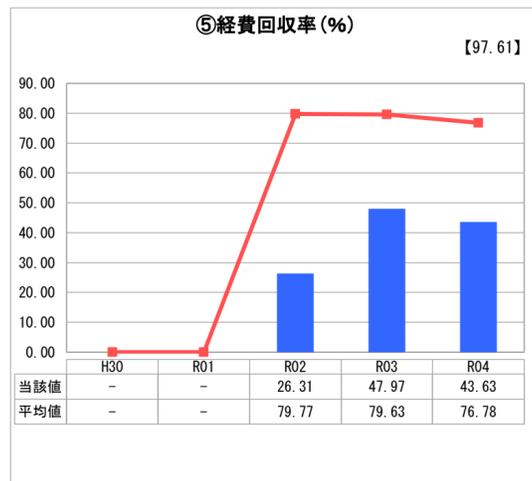
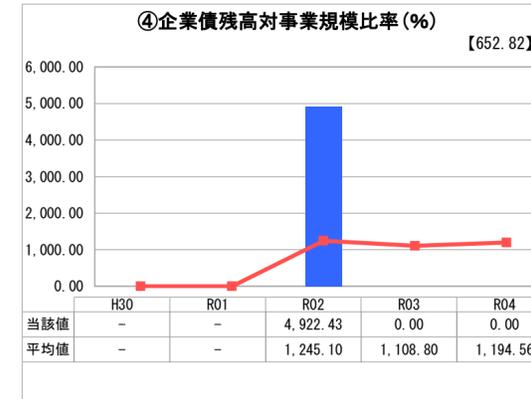
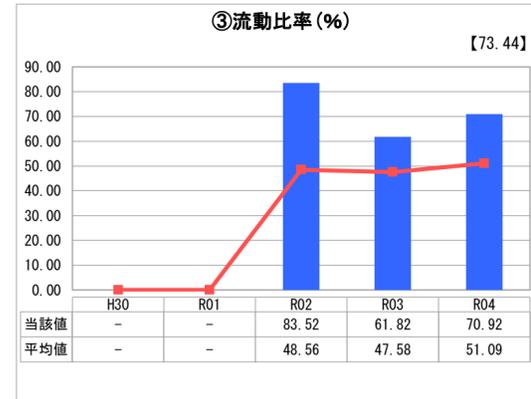
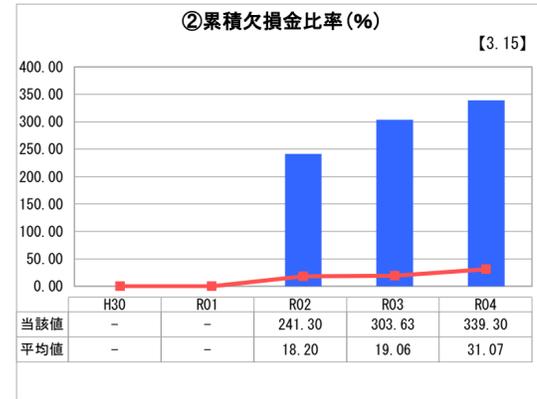
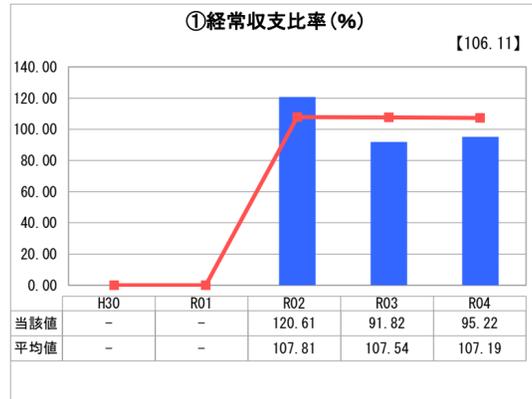
岩手県 大船渡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	48.38	44.04	86.10	2,750

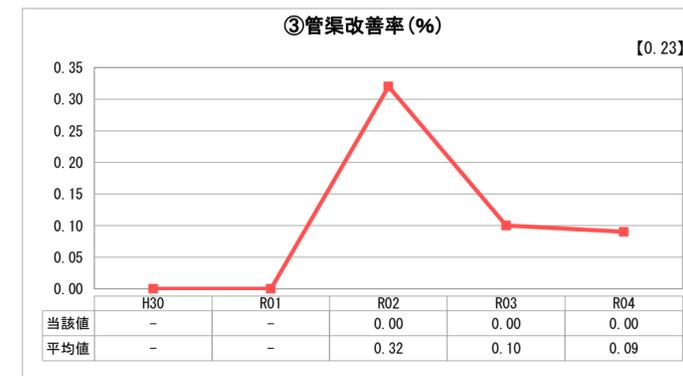
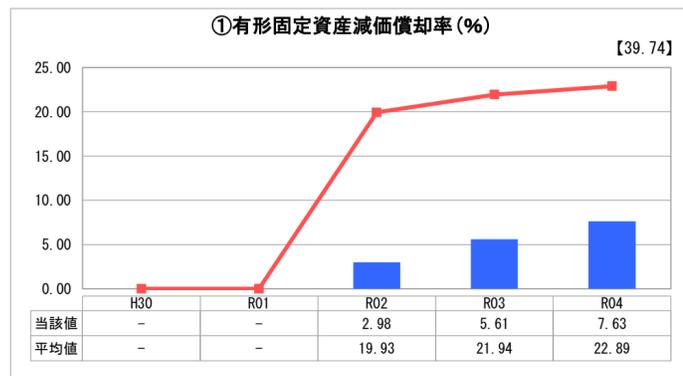
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,540	322.51	104.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
14,639	8.34	1,755.28

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
前年度より数値は改善したものの、依然として100%を切っており、赤字である。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金が蓄積している状態であり、類似団体平均値を大きく上回っている。
- ③ 流動比率
前年度より数値は高く、類似団体平均値を上回っているものの、100%を下回っており、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賅っていない。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
一般会計の負担により、類似団体平均値よりも低い水準となっている。
※令和2年度以降、全額一般会計で負担することとしていたが、令和3年度決算統計から一般会計負担額を反映させたものである。
- ⑤ 経費回収率
100%を下回っており、汚水処理にかかる経費を使用料で回収できておらず、一般会計繰入金に依存している。
- ⑥ 汚水処理原価
類似団体平均値と比較し、効率的な汚水処理が行われていないため、経費削減や接続率の向上による経営改善が必要である。
- ⑦ 施設利用率
現在未普及地域への管渠整備を進めており、将来的な処理水量の増加を想定し施設整備を行ったため、類似団体平均値より低い数値となっている。
- ⑧ 水洗化率
類似団体平均値と比較して低い数値であるが、接続率は増加しており、上昇傾向である。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
現在、法定耐用年数に近い資産はなく、まだ更新の必要性はないが、今後の老朽化に備えて順次適切に更新を進めていく必要がある。
- ② 管渠老朽化率
現在、管渠の老朽化は進んでいない。
- ③ 管渠改善率
管渠延長の更新は行っていない。

全体総括

公共下水道事業は、平成4年度に管渠整備に着手し、平成6年度から供用を開始している。経営状況については、累積欠損金が類似団体より蓄積していること、汚水処理にかかる費用を使用料で回収できず、一般会計の繰入金に依存していることなど、財源確保ができておらず厳しい状況である。令和6年度から段階的に使用料の見直しを行うこととしており、使用料見直しによる効果を検証しながら、適正水準での使用料の確保に努めるとともに、接続率向上対策及び経費削減に努め、安定した事業経営を目指していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。